

修正対照表(その他)

頁	行	素案	修正内容
1	26	健全な水循環は、… …… 図るものです。	そこで、 <u>流域を中心とした一連の水の流れの過程</u> において、… …… 構想を策定します。
2	3	…流れ下り…	…流下し…
2	10	水循環の機能	水循環の <u>4つの機能</u>
3	3	…、流域全体への影響を考慮し、…	…、 <u>上流から下流まで、流域全体を視野に入れ、…</u>
4	14	藤江幸一	藤江幸一(座長)
8	6.7	約20%となっています。工業用水や農業用水は、近年減少傾向にあります。一方、生活用水は、人口の増加などにより漸増しています。	約20%となっており、生活用水は、人口の増加などにより漸増しています。
14	課題3	一因となります。	一因であり、降雨による一時的な出水の原因となります。
16	課題	渇水の頻度が高くなっています。	水資源の有効利用や節水による対応を図っていますが、渇水の頻度が高くなっています。
18	10	…生息環境…	…生息・生育環境…
20	17	川や海などをよくするための費用負担	削除
23	16.17	都市とその周辺の中小河川や、湖沼、海域では、水質汚濁の改善が進んでいないところがあります。	矢田川上流、稗田川、鹿乗川などの都市とその周辺の中小河川や、湖沼である油ヶ淵、閉鎖性海域の伊勢湾・三河湾では、水質汚濁の改善が進んでいません。
23	25	…生息環境…	…生息・生育環境…
23	27以降	などにより身近な水辺が減少しています。	などによる、身近な水辺の減少で、人と水とがふれあう機会が減少するとともに、人と水とのふれあいの中で育まれてきた水文化や水に関する習俗の衰退もみられます。
26	6	を支えている一面があり、多様な生態系の保全・再生が、水質の浄化に繋がります。	を支えています。
28	10	継続性のある	持続性のある
29	6.7	水質の汚濁は、家庭や工場などから排出される水だけではなく、降雨等に伴って農地や市街地等からも排出される水も原因となります。	水質汚濁の原因物質は、家庭や工場などから排出されるだけではなく、降雨等に伴って農地や市街地等からも排出されます。
30	3	生活用水などを支える	生活用水など <u>安心な生活</u> を支える
33	3～5	そして森林を適正に整備・保全し、その機能を維持・回復することが、水循環の再生につながります。	削除
33	11以降	特に木材を使う、間伐材を使う、県産材を使うという機運を盛り上げて、側面から林業・木材産業の活性化を支えるとともに、県民の目を森林へ向けます。	削除
33	図	水源基金	水源基金等による森林整備の推進
34	9	向上につながり、流域の水質の改善など健全	向上させ、豊かな生物多様性の確保や流域の水質を改善させ、健全
35	5	地下水かん養、水辺空間	地下水かん養、 <u>水害防止</u> 、水辺空間

頁	行	素案	修正内容
37	図	水産業の役割等	水産業の役割 干潟の役割等
38	6~9	ウ 県民・事業者・民間団体・行政の協働 県民や事業者、民間団体、行政の協働を出発 点とし、事業者や民間団体などの主体性に任せ るような仕組みにより、自主的かつ広範囲な取 組へ発展を図ります。	ウ 県民・事業者・民間団体・行政等の協働 県民や事業者、民間団体、行政、大学などが、そ れぞれ主体性をもって協働することにより、自主的 かつ広範囲な取組の輪を広げ、水循環再生の取 組の発展を図ります。
40	表	東三の主な課題 10行目 豊川と天竜川とは、流域相互に水のやりとり を行っていることから、	豊川と天竜川は、利水協力が行われていることか ら、
41	9	その視点と内容は	その視点と主な内容は
41 42 43	16 18 28	重点的な取組	主な取組
41	23	里地里山の適切な利活用プログラム	里地里山の適切な保全活用プログラム
57	7	記述なし	「 湿地・湿原生態系保全の考え方の作成」を追加
57	25	…保全策を作成し、…	…保全策を示し、…